

地域計画

策定年月日	令和7年3月27日
更新年月日	令和8年3月31日 (第1回)
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	大田市 (322059)
地域名 (地域内農業集落名)	鳥越地域 (鳥越、越峠)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	11.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	11.4 ha
② 田の面積	10.1 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	1.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.5 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.3 ha
(参考)区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

- ・平成元年に圃場整備を終えており、整備済地を中心に認定農業者への集積が行われている。
- ・水稲が主要な生産物である。
- ・一部の未整備地については現在の耕作者が撤退した場合、後継耕作者の確保が課題になる。
- ・耕作者の高齢化や後継者不足が進行している。
- ・耕作者や地域住民の減少が続くなか、ため池や水路の維持・管理、草刈りが困難になる見込み。
- ・イノシシやサルによる農作物被害が出始め、今後、拡大すると想定される。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- ・引き続き水稲の生産を基本とする。
- ・効率的な耕作に向け、区画の統合・拡大や大型機械導入の検討や、スマート農業のメリットについて情報収集を進める。
- ・高齢化・耕作者不足への対応として、新たな耕作者の確保やスムーズな耕作権の継承を可能とする体制づくりを検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針					
・認定農業者への集積・集約化を中心としつつ、個人も含めた農業を担う者で調整し集積を図る。					
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標					
現状の集積率	71.4	%	将来の目標とする集積率	79.4	%
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標					
・担い手が利用する農地面積の団地数は7団地。担い手の育成を図るとともに、団地の統合と集約化を進める。					

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
・耕作者の中での後継者の育成や新たな耕作者確保の取り組みを進めるとともに、農地の集積と団地化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方法
・土地所有者は農地中間管理機構に預けることを基本とし、地域の農業を担う者の経営意向を斟酌しながら、順次、中間管理機構による集積を進めていく。
(3)基盤整備事業への取組
・現在のところ、新たな圃場整備への希望は出ていない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
・多面的機能支払交付金事業や自治体活動などを通じて退職予定者や若手住民等への日ごろからの声かけを行う。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・耕作者や圃場の状況等を確認しつつ、必要に応じて労力軽減につながる作業や必要な機械を持たない作業を中心に活用の検討を進め、営農活動の維持に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input checked="" type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①イノシシ、サルなどの侵入防止柵や電柵の設置など、地域による鳥獣被害対策を実施する。
- ③新たな技術の情報収集に努めるとともに、導入を検討し労力の軽減を図る。
- ⑦多面的機能支払交付金事業を活用し、営農環境の保全に努める。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認農	1	水稻	7.56 ha	— ha	水稻	7.56 ha	— ha	1	
利用者	2	水稻	0.38 ha	— ha	—	0 ha	— ha	—	
利用者	3	水稻	0.10 ha	— ha	—	0 ha	— ha	—	
利用者	4	自己保全管理	0.16 ha	— ha	—	0 ha	— ha	—	
利用者	5	野菜	0.06 ha	— ha	—	0 ha	— ha	—	
利用者	6	水稻	0.21 ha	— ha	—	0 ha	— ha	—	
利用者	7	水稻	0.32 ha	— ha	水稻	0.32 ha	— ha	3	
認農	8	水稻・飼料米	1.69 ha	— ha	水稻・飼料米	1.69 ha	— ha	4	
利用者	9	水稻	0.60 ha	— ha	水稻	0.60 ha	— ha	5	
利用者	10	水稻	— ha	— ha	水稻	— ha	— ha	—	就農予定者
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	10経営体		11.08 ha	0 ha		10.17 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--